# カーボン・ニュートラル達成に向けた東海国立大学機構のビジョン





地域のゼロカーボン

WG\*

\*東海国57大学機構

として幹事を務めるWG

東海地域の好循環モデル(TOKAI-PRACTISS)とカーボンニュートラル Tokai Project to Renovate Area Chubu into Tech Innovation Smart Society

2021年7月29日 公表資料

#### 自治体の脱炭素化支援

・岐阜県気候変動適応センター

地域産業の

競争力向上

- ·岐阜県地球温暖化対策実行計画懇談会
- ・世界気候エネルギー首長誓約/日本 ・地域自立エネルギーシステム・ロードマップ

人材·資金

の環流



SDGs等 国際社会への貢献

課題解決 提量

国·地方機関 ||||||

国際的

発信

社会的 評価向上

東海国立大学機構



Ш

大学発

ベンチャー

カーボンニュートラル 推進室

人材·資金 の還流

岐阜大学 名古屋大学

産学官民の英知結集による地域創生 人間の生き方・社会の在り方デザイン

優秀な 人材輩出

#### 大学のゼロエミッション

- •第29回地球環境大賞•文部科学 大臣賞(2020、地エネセンター)
- 第6回サステイナブルキャンパス賞 (2020、岐阜大キャンパス)
- 第5回サステイナブルキャンパス賞 (2019、名古屋大キャンパス)
- サステイナブルキャンパス評価シス テム唯一のプラチナ認証校(2019)

キャンパスのゼロ カーボンWG

#### 産学連携による社会実装

• 自立型マイクロ・ナノグリッド

既存産業

構造変革

- ・カーボンリサイクル要素技術
- 次世代エネルギー産業創出コンソーシアム
- ·次世代半導体 GaNコンソーシアム
- ・大気中CO。直接回収技術:ムーンショット
- アンモニア・水素製造技術

#### 環境人材の育成

- •地域の環境学習
- ・流域水環境リーダー育成プログラム
- ・次世代地域リーダー育成プログラム
- ・6研究科共同ESDプログラム
- ・統合環境学特別コース
- ・国際環境人材育成プログラム

国際連携• 協力WG

人材育成WG

イノベーションWG\*

カーボンニュートラルに貢献する大学等コアリション

## ビジョン・ステートメント

カーボン・ニュートラル\*の実現は、自然環境を生存基盤とする人類の存続の危機に関わる課題であり、SDGs達成に向けて国や地域を持続可能で強靭な経済社会へと再設計していくために必要不可欠である。我が国や世界の2050年までのカーボン・ニュートラル達成や気候変動による甚大な影響への対応のためには、技術イノベーションのみならず経済社会システムのイノベーションが必要であり、そのための知見の創出を加速するとともに、これらを総動員して、地域、国、世界に貢献することが求められている。

このようななか、大学は、教育・研究・社会貢献活動を通じて、国や地域の政策やイノベーションの基盤となる科学的知見を 創出するとともに、その知を普及する使命を持ち、以下の例のように、国内外に果たすことのできる役割は多様であり、かつ極 めて大きい。

○人文・社会科学から自然科学までの**「総合知」の創出と分野融合**、これらの知を活用した<u>地域のゼロカーボン化や気候変</u> 動への適応に係る取組への協力

地域のゼロカー ボンWG

○自治体や企業、大学間の共同研究等を通じた、脱炭素技術やプラスチック代替・循環技術などの新たな技術や価値観・ 行動様式の創出

イノベーションWG

- ○環境分野における人材育成やリテラシー向上 人材育成WG
- ○地域における社会実装の場としての大学キャンパスにおけるゼロカーボン化の推進 キャンパスのゼロカーボンWG
- ○誰ひとり取り残さない社会の実現に向けた<u>世界貢献と国際連携</u> 国際連携WG

以上を踏まえ、大学が、国、自治体、企業、国内外の大学、研究機関等との連携を通じ、取組や成果の水平展開、革新的なイノベーションを生み出す研究開発や成果の社会実装の推進、ネットワーク・発信力の強化などを行う場として、「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」を立ち上げ、社会における大学の機能と存在感を一層高めるとともに、カーボン・ニュートラル達成に向けた取組を大学から大学、地域、国、世界へと、次々と展開させること、また、関係する大学等の総意としての発信を通じて社会の在り方等により良い変化をもたらすことに貢献することをここに決意する。

令和3年7月29日 188の国公私立大学等 文部科学省、経済産業省、環境省

#### 2021~2025年のコアリション・ロードマップ

### 2021年7月29日コアリション総会決定資料に緑帯加筆

2021 2022 2023 2024 2025 2022年3月11日 設立総会 総会 ●総会 ●総会 ●総会 全体シンポジウム ①総会 成果発信(3年間) 成果発信 成果発信(5年間) 開催予定 コアリション全体の方向性の推進、WG間の連携の促進、各WGの成果の集約と発信など 情報収集・大学の特性に応じたモ 大学の特性に応じたモデルの構築に向けた取組の推進 デルの構築に係る方向性の検討 ②ゼロカーボン・ キャンパスのゼロカーボン化に向けた貢献に係る方針やロードマップ等の策定と順次取組の推進 WGの全参加大学が策定 取組の推進 キャンパスWG 各大学等のゼロカーボン・キャンパスに係る取組等の情報の集約と共有 発信 国際的な枠組み等との参画や連携の推進 場の創設に係る検討 地域のゼロカーボン化に向けた取組や知見の共有、課題の共有と解決に向けた議論などを行う場の創設と運営 ③地域 研究チームの創設 地域のゼロカーボン化に資する知見の創出に係る研究開発 ゼロカーボンWG 各大学等の地域ゼロカーボン化に向けた取組等の情報の集約と共有 発信 場の創設に係る検討 産学官民連携の加速するための新たな場や多様な分野の研究者の議論の場の創設と運営 **④**イノベーション WG 各大学等の産学官民連携に係る取組等の情報の集約と共有 発信 発信 産学官民連携に係る成果や課題の共有と議論 プロジェクトに係る検討 大学等間連携プロジェクトの実施(共同教育プログラム、教材等の作成など) 活用·普及 ⑤人材育成 目指すべきカーボンニュートラル人材 WG の在り方等に係る検討 発信 各大学等の持つ人材育成・人材交流等の情報の集約と共有 発信 「日米大学等合同検討会」(仮称) 立上げ(予定) 米国との調整 日米の大学間の連携推進 (ワークショップの開催、国際共同教育プログラムの設立、人材交流など) ⑥国際連携・協力 欧州等との連携推進、共同プロジェクト等の検討・実施 WG 発信・ 途上国への国際協力等も含めた情報の集約と共有 各大学等の持つ国際連携等の情報の集約と共有 発信

国際的情勢等に係る情報収集と各WG人の展開、コアリション全体の成果の国際発信



# 東海国立大学機構 カーボンニュートラル推進室

文科省

カーボンニュートラルに貢 献する大学等コアリション

環境省

経産省

企業

東海国立大学機構参加

総会

キャンパスWG 地域WG\*

イノベーションWG\*

人材育成WG 国際WG

【\*幹事】

ミッション

○東海機構CN活動の司令塔

- OCNコアリション(2021-25年度)活」 動の具体的対応
  - 総会・WG活動
  - ・幹事大学としての 活動

室長:西澤泰彦 副室長:村岡裕由

兼務教職員:岐大7名+名大5名/URA+学術専門職

「機構CN推進戦略」の企画立案

- ・キャンパスのゼロ・カーボン/ゼロ・ エミッション推進
- 脱炭素社会 環境共生社会創造推 進(教育・研究)

岐阜県

岐阜大学オフィス

代表:村岡裕由(地域WG\*) 構成員(CNコアリションWG参加)

脱炭素・環境エネルギー 研究連携支援センター

> 地域環境変動 適応研究センター

> > 流域圏科学 研究センター

斎藤琢. 岩澤淳(地域WG) 板谷義紀(イノベーションWG) 板谷義紀(キャンパスWG) 大塚俊之, 李富生, 益川浩一, 伊藤浩二(人材育成WG)

環境対策室

地方創生エネルギー 地域協学 システム研究センター センター

名古屋大学オフィス

代表:西澤泰彦(総会+地域WG\*) 構成員(CNコアリション対応チーム) 伊東早苗(国際WG)

田中英紀+恒川和久(キャンパスWG)

高野雅夫(人材育成WG)

永岡勝俊(イノベーションWG\*)

[\*は東海国立大学機構が幹事を務めるWG]

各研究科

[国際・エ・農・環境]

愛知県

未来社会創造機構

脱炭素社会創造センター 2022年設立計画中

⇒名古屋大学オフィス 全員参加

アジア共創教育研究機構/ 未来材料システム研究所 /ITbM/施設·環境計画推 進室/フューチャー・アース 研究C

4

あいちゼロカー ボン推進協議会